

青森県特別支援学校総合スポーツ大会
陸上競技実施に係る感染症対策ガイドライン

青森県特別支援学校スポーツ連盟
陸上競技専門部

本専門部は「青森県特別支援学校総合スポーツ大会感染症対策ガイドライン」をもとに、以下に留意し、来場者の安全と感染拡大防止に努める。

〈競技全般に関すること〉

- ①来場する全ての方に「健康管理チェックリスト」の提出をお願いする。
※提出されたシートは連盟事務局が適切に管理し、大会終了14日後に廃棄する。
- ②全ての来場者にマスクの着用をお願いする。
※選手については、競技中の未装着を可とする。
- ③来場者にはこまめに手洗い・手指消毒することをお願いする。
- ④常に「ソーシャルディスタンスの確保」と「3密」を意識し、行動する。
- ⑤開会式、閉会式は簡素化し、密集・密接を避けて実施する。

〈参加者・競技役員・ボランティアに関すること〉

- ①会場となる陸上競技場の入口・出口に手指消毒用ポンプ、非接触型検温器を設置し、入退場時には全ての関係者が手指消毒、検温を行う。
- ②選手と対面する可能性のある審判員には、必要に応じて主催者が用意するマスクやフェイスシールドの着用をお願いする。
- ③選手が直接触れるバトン等は、主催者が用意する消毒スプレー等でこまめに消毒をする。
- ④試合前後の参加者同士の握手やハイタッチはしない。
- ⑤タオルや飲料ボトルの共有はしない。
- ⑥競技中の大声による指示や応援はしない。
- ⑦試合前などの招集場所やウォームアップにおいてもできるだけ密集・接触を避ける。
- ⑧ベンチ等では離れて座り、私語は慎む。
- ⑨体調不良等があった場合には、必ず陸上競技本部に報告する。
- ⑩ごみは持ち帰る。

〈待機場所に関すること〉

- ①試合前の待機場所はメインスタンド席を利用する。
- ②陸上競技場への入退場は、主催者が指定したルートを使用する。
- ③選手の着替えは、男女それぞれのロッカールームにて各校の監督立ち会いのもと行う。
他競技の選手を含め、1度に利用できる人数は10人程度とし、密な状態を回避して間隔を十分に確保する。

〈その他〉

- ①不測の事態が発生した場合は、連盟事務局と連携し、本専門部長の指示のもと、来場者の安全と感染拡大防止を最優先に対応する